

【案】

第六次寝屋川市総合計画
(第2期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略)
後期実施計画

令和6年度～令和9年度

<令和6年度版>

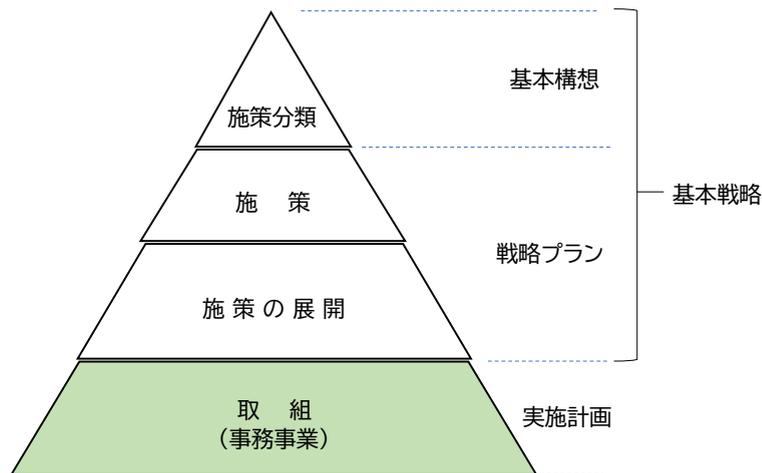
新たな価値を創り、選ばれるまち 寝屋川
～イノベーションの創出～

寝屋川市

■ 後期実施計画の概要

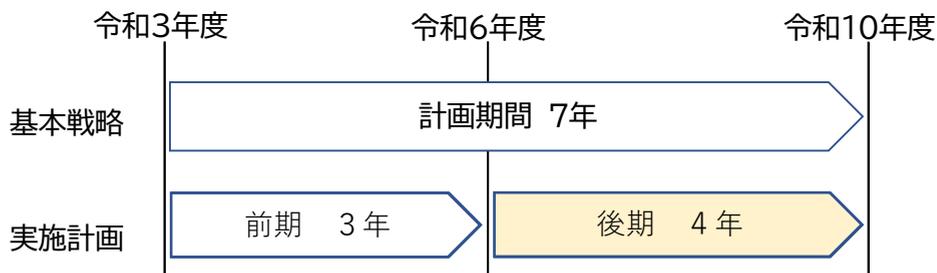
1 策定の目的

第六次寝屋川市総合計画（第2期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略）の基本戦略（基本構想及び戦略プラン）に基づく具体的な取組（事務事業）を計画的かつ効果的に実施するため、策定するものです。



2 計画期間

令和6年度から令和9年度までの4年間を計画期間とします。



3 計画の構成

第六次寝屋川市総合計画（第2期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略）に定める“施策”ごとに、「DXの推進」、 “施策の展開” ごとに、「取組」、「リーディング事業（総合戦略事業）」、「進捗管理指標」で構成します。

■ 後期実施計画の見方

① “施策” のページ

施策 1 安心して子どもを産み、育てる環境づくり

妊娠期から子育て期まで、喜びを感じながら楽しんで子育てができるよう、切れ目のない支援の充実を図ります。寝屋川市で子どもを産み、育てたいと感じてもらえる環境づくりを進めます。

《施策指標（数値目標）》

指標名	基準値・実績値・目標値			
	R1基準値	R4実績値	R5目標値	R9目標値
通年保育所等利用待機児童数	0人	0人	0人 (※1)	0人 (※1)
出生数に係る想定数と実数との差(※2)	—	103人	25人	41人
	〔出生数〕 1,451人	〔出生数〕 1,351人	〔想定出生数〕 1,187人	〔想定出生数〕 971人

※1 待機児童を生じさせないことを指標としているため、「0人」を目標値とします。
 ※2 出生数に係る想定数：出生数の平成27年度～令和元年度の平均減少率を、前年度の出生数に乗じて算定した数値

施策の展開

- ① 子どもと母親の健康づくり（取組数：3）
- ② ニーズに対応した教育・保育サービスの提供（取組数：5）
- ③ 一人ひとりの状況に応じた支援を受けることができる環境整備（取組数：3）
- ④ 子育て世代にうれしいサービスの充実（取組数：10）
- ⑤ 放課後児童の安全・安心な居場所の確保（取組数：1）

DXの推進

〇〇〇〇を実施するに当たり、〇〇することにより、〇〇〇〇します。

【今回 変更不可】

まちの将来像を実現するために実施する“施策”の名称です。施策名は、総合戦略における基本目標としても取り扱います。

【今回 変更不可】

“施策”の方向性（ビジョン）を示しています。

【今回 変更不可】

“施策”の達成状況を測る代表的な指標とその目標値等を示しています。

この指標は、総合戦略における数値目標としても取り扱います。

【今回 変更不可】

“施策”におけるビジョンの実現に向け、展開する内容（“施策の展開”）と、それを構成する取組（事務事業）の数を示しています。

【今回 追記】

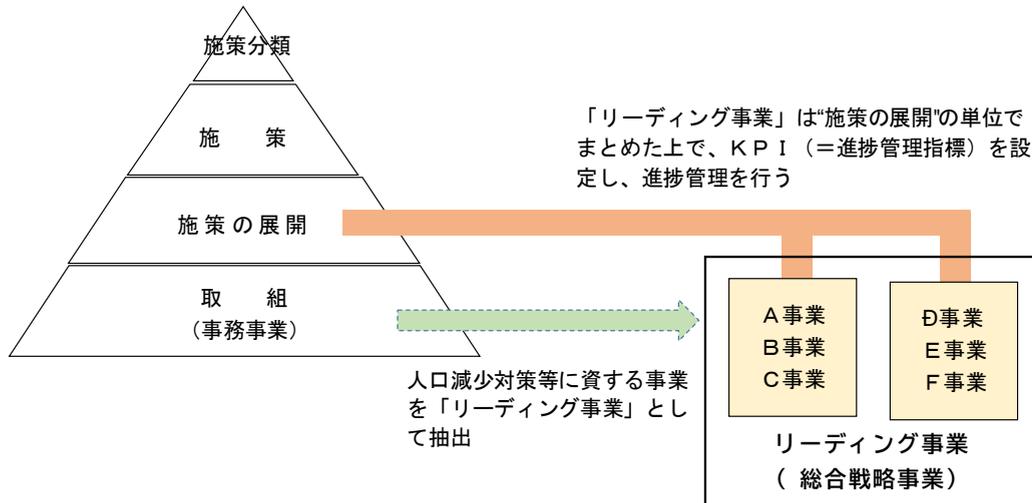
デジタル技術の活用の方向性を示しています。

- 国は急速な少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけ、将来にわたり活力ある社会を維持する観点から、平成26年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、地方創生に向けた取組を進めています。
 令和4年には、デジタルの力を活用し、地方創生を加速・深化させることを目的に第2期総合戦略を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」として抜本的に改訂されています。
 本市においても、デジタル技術を積極的に活用し、市民サービスの向上や多様な世代が利便性を実感できる環境整備に取り組めます。

■リーディング事業（総合戦略事業）について

第六次寝屋川市総合計画は、第2期寝屋川市まち・ひと・しごと創生総合戦略と統合して策定しており、“施策の展開”ごとに、人口減少対策等地方創生に資する事業を「リーディング事業（総合戦略事業）」に位置付けます。（リーディング事業のない“施策の展開”もあります。）

また、リーディング事業に関連する指標については、より効率的に進捗管理を行うため、[KPI（重要業績評価指標）＝進捗管理指標]とすることを基本として設定することとしています。



◆リーディング事業の対象事業は、以下のいずれかの分野をカバーする事業を基本とします。

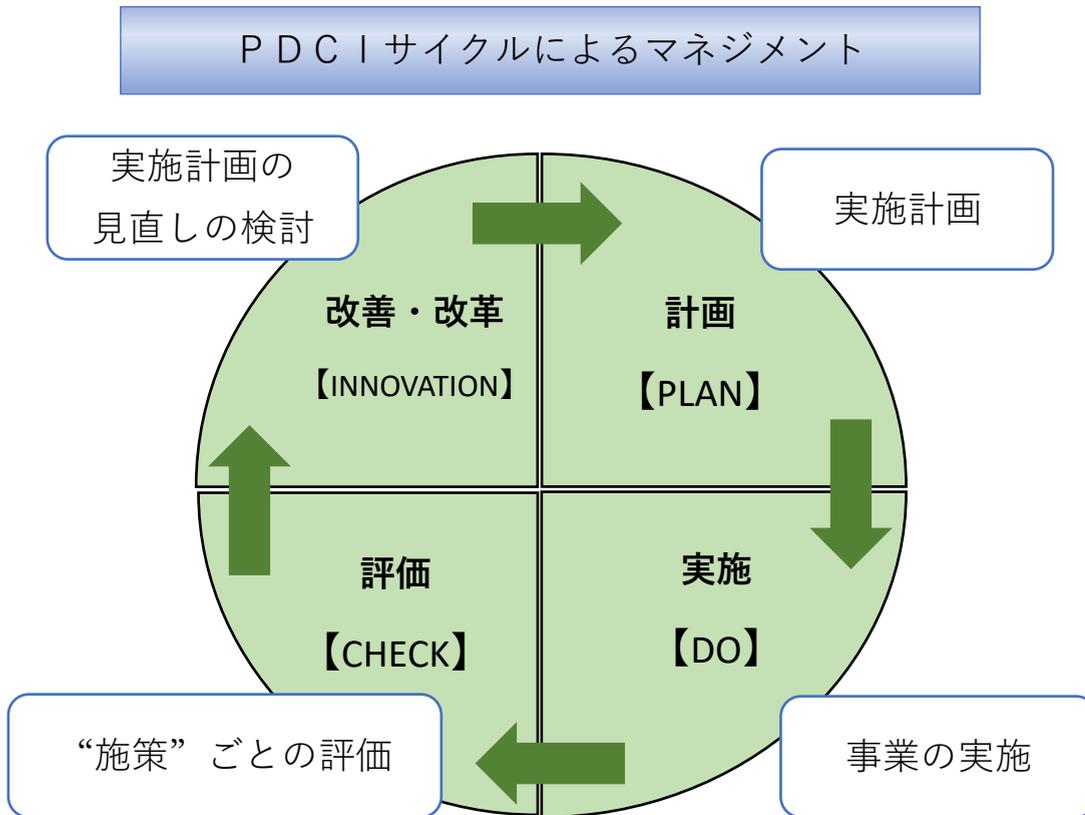
- ① しごとづくり
 - 地域資源、産業を活かした競争力の強化（企業への支援を含む）
 - 専門的な人材の確保、育成 ○ 働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保
- ② ひとの流れ
 - 本市への移住、定住の推進 ○ 若者の就学、就業による本市への定着の推進
 - 関係人口及び本市への資金の流れの創出・拡大
- ③ 結婚・出産・子育て
 - 結婚、出産、子育て支援 ○ 教育環境の充実 ○ 仕事と子育ての両立
- ④ まちづくり
 - 都市機能、都市基盤の強化・充実 ○ 魅力と個性のある地域の形成（公園の魅力向上、文化・スポーツ事業の充実、市独自事業でイメージアップにつながる事業 など）
 - 安心して暮らすことができるまちづくり（医療・健康・福祉の充実、地域防災・防犯の強化、子どもの安全安心 など）

◆その上で、特に以下の効果を強く発揮する事業を「リーディング事業」に位置付けます。

- a 人口減少対策及び人口の年齢構成のリバランスに効果がある事業
- b 少子高齢化の進行に的確に対応するための事業
- c 将来にわたり活力ある地域を維持するために効果がある事業
- d 国のデジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）等を活用する事業（採択に当たり、総合戦略への掲載が必要となるもの）

■ 本計画の進捗管理について

本計画を着実に推進するため、計画の進捗管理とPDCIサイクルの考え方に基づく行政評価を一体的に行うことにより、効率的かつ効果的な施策の推進を図ります。



P D C I サイクルとは・・・

計画・目標（PLAN）を明らかにした上で、施策・事務事業を実施（DO）し、設定した目標が達成されたかどうかを評価（CHECK）することで、課題・問題点を抽出するとともに、その解決策を考え、施策・事務事業の改善・改革（INNOVATION）につなげ、次の計画に反映していくという経営（マネジメント）サイクルのこと。